

| | |
|---|--|
| <p>Overview:神は平安の神です。私たちはこの世の中で苦難を持っていますが、キリストの中で平安を持っています。人の墮落のゆえに、人類の間には多くの規定、習わし、習慣、生活する方法や礼拝する方法があり、これらすべては人類を分裂させ、離散させ、混乱させました。平和をつくる方であるキリストがいなければ、宇宙には何の平和もあり得ないので、私たちは平安のささげ物としてのキリストを必要とします。ユダヤ人信者と異邦人信者の両者のために完全な贖いを成就したキリストご自身が、私たちの平和であり、調和です。からだの生活の中で、私たちは平和の結合するきずなの中でその霊の一を保つべきです。今や平安の神が速やかに、サタンをあなたがたの足の下に踏み砕かれます。神が万物を彼ご自身に和解させることは、万物のために彼ご自身へと平和をつくることです。この事はキリストの十字架の血を通して完成されました。私たちは一つからだの中で、キリストの平安へと召されました。からだから独立している人は真の平安を持っていません。からだに依存することは真の平安をもたらします。私たちはからだの生活のために、キリストの平安に、私たちの心の中で、彼のからだの各肢体との関係において、すべての事を裁定し、調整し、決定していただく必要があります。</p> | <p>I. 三一の神は平安(平和)の神です:A. 神は平安の神です: 1. 私たちの御父は平安の神であり、平安の命と平安の性質を持っています。2. 私たちは信仰によって義とされたので、私たちの主イエス・キリストを通して、神に対して平和を持っています(ローマ5:1)。3. 私たちが享受する平安は神ご自身です。 B. 新約は、神の平安についても平安の神についても語っています。神の平安と平安の神とは、実は一です。C. 神の平安は、平安の神が私たちと彼との交わりを通して、私たちの中へと注入されることです。 D. 私たちはこの世の中で苦難を持っていますが、キリストの中で平安を持っています(ヨハネ16:33):1. 私たちが心を騒がせるのは、この世の中にいるからです。心を騒がせることを解決する方法は、私たちがキリストの中へと信じることによってキリストの中へと入ることです。2. ヨハネ第16章33節には二つの領域があります。すなわち、騒がせるすべてのものがある物質の領域(この世)と、平安のある、霊なるキリストの神聖で奥義的な領域です。』</p> |
| <p>II. 人の墮落のゆえに、人類の間には多くの規定、習わし、習慣、生活する方法や礼拝する方法があり、これらすべては人類を分裂させ、離散させ、混乱させました。あらゆる国の間と人種の間には隔てがあり、こういうわけで人類の間には平和がなく、敵意と不和と戦争があるだけです。</p> | <p>III. 平和をつくる方であるキリストがいなければ、宇宙には何の平和もあり得ないので、私たちは平安のささげ物としてのキリストを必要とします:A. 平安のささげ物は、平和をつくる方であるキリストを予表します。 B. キリストは、平安のささげ物の予表の成就また実際として、私たちの平安です。キリストを通して、また彼の中で、私たちは神と平和を持ち、また互いに平和を持ちます。C. 私たちはキリストなしに、神とあるいは他の人たちと平和を持つことはできません。私たちはただキリストを通して、キリストをもって、キリストの中でのみ、このような平和を持つことができます。 D. 私たちはからだの生活の中で、またからだの生活のために、私たちの平安としてのキリストを必要とします。</p> |
| <p>IV. キリストは、エペソ人への手紙において啓示されているキリストのからだのための平安のささげ物です: A. ユダヤ人信者と異邦人信者の両者のために完全な贖いを成就したキリストご自身が、私たちの平和であり、調和です:1. キリストが平安のささげ物として十字架につけられた時、彼の死は人の生活のさまざまな規定と宗教のさまざまな規定を廃棄し、無効にしました。2. 人種間の違いと社会階級の違いは、廃棄されました。3. キリストが、分離する規定を彼の肉体の中で廃棄することによって、すなわち、彼が敵意を殺し、またユダヤ人信者と異邦人信者を一人の新しい人へと創造することによって、平和がすべての信者たちの間につくられました。』 4. 一つからだの中で、ユダヤ人も異邦人も十字架を通して神に和解させられました。私たちが神に和解させられたのは、キリストのからだの「ため」だけではなく、またキリストのからだの「中」でもありました。 5. 神のエコノミーに相対するあらゆるものが終わらされてはじめて、平和を持つことができます。 6. 私たちはキリストの血を通して、神にも近づき、また神の民にも近づきました。 B. 復活の中で、キリストはその霊として来て、平和を福音として宣べ伝えました。キリストは平和をつくる方として死んで、彼の血を流し、私たちを神に和解させました。そして彼は命を与える霊として、さらには福音を宣べ伝える霊として私たちに来て、平和の福音を宣べ伝えました。』 C. からだの生活の中で、私たちは平和の結合するきずなの中でその霊の一を保つべきです: 1. キリストは、規定によって生じた人類の間のすべての違いを十字架上で廃棄しました。それによって、彼はご自身のからだのために平和をつくりました。この平和は、すべての信者を結び付け、こうして平和の結合するきずなとなるべきです。 2. 私たちの召会生活の実行において、もし私たちが十字架の上にとどまるなら、キリストが十字架上でつくった平和は、結合するきずなとなり、その中で私たちはその霊の一を保ちます。 3. 幕屋の結合する横木が表徴していることは、ミングリングされた霊、すなわち、神聖な霊と再生された人の霊とのミングリングが、平和の結合するきずなとなるということです。私たちの経験では、平和の結合するきずなどは、私たちの霊と結合する霊(交差する霊)との協力です。 D. 私たちは霊的な戦いに携わるために、平和の福音を確固とした土台として、すなわち、平和の福音を建て上げて、足にはく必要があります: 1. キリストは十字架上で、神と人の両者に対して、私たちのために平和をつくりました。この平和が私たちの福音となりました。 2. この平和の福音は建て上げられ、私たちの足にはくことのできる確固とした土台となりました。このように足にはくことによって、私たちは確固とした足元を持ち、それによって私たちは立って、霊的な戦いを戦います。』</p> | <p>V. キリストは、コロサイ人への手紙において啓示されているキリストのからだのための平安のささげ物です: A. 神が万物を彼ご自身に和解させることは、万物のために彼ご自身へと平和をつくることです。この事はキリストの十字架の血を通して完成されました。 B. 私たちは一つからだの中で、キリストの平安へと召されました。 C. からだから独立している人は真の平安を持っていません。からだに依存することは真の平安をもたらします。 D. 私たちはからだの生活のために、キリストの平安に、私たちの心の中で、彼のからだの各肢体との関係において、すべての事を裁定し、調整し、決定していただく必要があります: 1. 「裁定する」というギリシャ語は、「審判する、つかさどる、あらゆることの支配者、決定者としての位に就く」と訳すことができます。』 2. もし私たちがキリストの平安に私たちの心の中で裁定していただくなら、この平安は私たちの間のすべての争いを解決します。そのとき私たちは、神とは垂直の平安を持ち、聖徒たちとは水平の平安を持ちます。 3. キリストの平安が裁定することを通して、私たちの問題は解決され、からだの肢体の間の摩擦は消え去ります。そして召会生活は、一と甘さの中に保たれます。4. キリストの裁定する平安は、私たちの内側で働くキリストであって、私たちに対して彼の支配を行使し、結論を出し、最終的な決断を下します。 5. もし私たちが、キリストの平安に王として支配させることの下にとどまるなら、他の人を腹立たせたり、傷つけたりしないでしょ。そうではなく、私たちは主の恵みによって、また彼の平安をもって、他の人に命を供給します。 6. 私たちは召会生活の中で、あらゆることにおいて、あらゆる方面において、あらゆる人に対して平安を持つ必要があります。この事のために、私たちは絶えず平安の主にあらゆる方面において私たちに平安を与えていただくことを必要とします。』</p> |
| <p>E. 「今や平安の神が速やかに、サタンをあなたがたの足の下に踏み砕かれます」(ローマ16:20): 1. 神はサタンを、召会生活をする人たちの足の下に踏み砕くことを約束しています。この事は、サタンを踏み砕くことが召会生活と関係があることを示しています。2. サタンを対処することはからだの事柄であり、個人の事柄ではありません。 3. 私たちが正常な地方召会をからだの実際的な表現として持つときにはじめて、サタンは私たちの足の下に踏み砕かれます。</p> | |

第一日 ローマ15:33 今や平安の神が、あなたがた一同と共におられますように。アーメン。

ヨハネ16:33 「私がこれらの事をあなたがたに語ってきたのは、あなたがたが私の中で、平安を持つためである。世にあって、あなたがたには苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。私はすでに世に打ち勝っている」。

第二日 エペソ2:14 なぜなら、彼ご自身は、私たちの平和であって、両者を一つにし、そして敵意である隔ての中垣を取り壊し、15数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄されたからです。それは、彼がご自身の中で、二つのものを一人の新しい人へと創造して、平和をつくるためであり。

第三日 エペソ2:16 また十字架を通して、両者を一つからだの中で神に和解させるためでした。それによって敵意を殺してしまったのです。17そして彼は来られて、遠く離れていたあなたがたに、平和を福音として宣べ伝え、また近くにいた人たちに、平和を宣べ伝えられました。

第四日 エペソ4:3 平和の結合するきずなの中で、その霊の一を保つことを熱心に努めなさい。

エペソ6:15 また平和の福音を確固とした土台として足にはきなさい。

第五日 ローマ16:20 今や平安の神が速やかに、サタンをあなたがたの足の下に踏み砕かれます。私たちの主イエスの恵みが、あなたがたと共にありますように。

コロサイ3:15 そして、キリストの平安に、あなたがたの心を裁定させなさい。この平安のためにあなたがたも、一つからだの中で召されたのです。そして感謝にあふれていなさい。

第六日 コロサイ1:20 そして、彼を通して万物を、すなわち、彼を通して、地にあるもの天にあるものをご自身に和解させ、彼の十字架の血を通して、平和をつくられたのです。

Ⅱテサロニケ3:16 どうか平安の主ご自身が、いついかなる場合にも、あなたがたに平安を与えてくださいますように。主があなたがた一同と共におられますように。

経験①: 神に相談することで、平安の神があなたの心を護衛する

神の一つの属性は平安です。新約は、神の平安と平安の神の両方について語っています。平安の神に関して、ローマ人への手紙第16章20節は言います、「今や平安の神が速やかに、サタンをあなたがたの足の下に踏み砕かれます」。神の平安に関して、ピリピ人への手紙第4章7節は言います、「そうすれば、人知をはるかに超えた神の平安が、あなたがたの心と思考を、キリスト・イエスの中で護衛してくださいます」。神の平安は実は、平安としての神であり、私たちが祈りによって彼と交わることを通して、悩みの均衡をとる重り、思い煩いの抗毒剤として、私たちの中へと注入されます(ヨハネ16:33)。平安の神は、私たちの心と思考を、キリスト・イエスの中で護衛してくださいます。彼は私たちの心と思考の前を、キリストの中で巡回されます。

神の平安と平安の神は一です。神が私たちと共におられるとき、平安も私たちと共にあります。私たちが享受する真の平安は神ご自身です。

クリスチャンは弱くても、強いと感じることがあり得ます。彼は痛みを感じても、平安の感覚を持っています。彼が痛みを感じるのは、外側からの患難に遭うからです。彼が平安の感覚を持っているのは、主に会い、内側から主に触れるからです。もし私たちが外側からの患難に遭っても、内側で何の平安もないなら、何かの間違っているのです。主は、世にあって私たちは苦難を持っているが、彼の中で平安を持っていると言われます。主の中に住んでいる人は、あるいは霊の中に住んでいる人は、外側からの多くの患難に遭うかもしれませんが、内側で依然として平安があります。そうでなければ、それは彼が霊の中に生きていないことを証明します。もし私たちが患難の中で内側の平安に欠けているなら、それは私たちが霊の中に生きていないことを証明します。それから、もし患難がなくても、私たちが内側の平安を持っていないなら、それはさらにいっそう私たちが霊の中に生きていないことを証明します。

中高生編

ヨハネ16:33「私がこれらの事をあなたがたに語ってきたのは、あなたがたが私の中で、平安を持つためである。世にあって、あなたがたには苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。私はすでに世に打ち勝っている」。

学生にとって多くの苦難は人間関係のこじれから来ます。例えばクラスの雰囲気や自分が合わない、クラスの何人かの行動が癪(かん)に障りどうしても受け入れられない、あるいは先生の問題解決の方法が中途半端であると感じ受け入れられないなどです。このような状況の中で、あなたはキリストを見つめ、彼と交わることによって、キリストの平安を内側に持つことができます。主を信じていない人の内側にはキリストが無いので、外側の世の中、サタンの王国の中の流れとある意味で一致しており、内側にあまり矛盾はありません。しかし一旦主イエスを信じ受け入れ、バプテスマされると、あなたは内側に命としてのキリストを持ち、神の王国に移されました。しかしながら召会時代において、あなたは依然として世の中におります。それはあなたが主の中で成長することを助けるためです。

苦難の環境の中であなたは、以下のことを実行してください。

- i. 世の中と矛盾のない異邦人の友人を羨ましいと思っははいけません。世の終局は火の池です。矛盾がないことは実は恐ろしいことなのです。
- ii. 主とあなたの霊的パートナーやあなたを導いている兄弟姉妹との祈りと交わりを通して、一見して矛盾した環境が、実はあなたが成長するために神が按配した環境であることを理解してください。
I ペテロ5:10 しかし、あらゆる恵みの神、キリスト・イエスにあってあなたがたをご自身の永遠の栄光の中へ召してくださった方は、あなたがたがしばらく苦しみを受けた後、彼自らあなたがたを成就し、堅固にし、力づけ、土台づけてくださいます。
- iii. 環境上の神の御心を理解した上で、どのように矛盾を乗り越えたらよいのか、主と交わる必要があります。あなたは神に自分の要望を祈りと願い求めの中で伝え、神と交わり、神に相談してください。
- iv. そうすれば人知をはるかに超えた神の平安が、あなたの内側であなたの心と思考を護衛してくださいます。ハレルヤ!

経験②: キリストの平安に私たちの心を裁定させる

私たちはクリスチャンとして、救われていない人々よりも複雑です。私たちは救われる前、サタン的な当事者の統制の下にいました。私たちは内側に何の葛藤の感覚もなく、この世的な娯楽や享楽にふけることができました。しかし今や私たちは救われたので、一人の当事者は一つの事を行なうよう私たちを奨励するかもしれませんが、別の当事者は他の事を行なうように奨励するかもしれません。このゆえに、内なる裁定が、私たちの内側の論争を解決する必要があるのです。私たちは内側で起こる会議をつかさどる人、事を必要とします。コロサイ人への手紙第3章15節によれば、このつかさどるもの、この裁定者はキリストの平安です。

私たちは、キリストの平安に私たちの心を裁定させるべきです。すべての当事者は、裁定者の言葉に注意しなければなりません。…コロサイ人への手紙から、キリストの平安が私たちの内側の裁定者であることをはっきりと見ます。この裁定者は、私たちの内側のすべての論争を解決しなければなりません。…私たちは内側で異なる当事者が論じ合い争っているのを感じるときはいつでも、つかさどるキリストの平安に地位を与え、新しい人の一であるこの平安に私たちの内側を支配していただく必要があります。この平安、この一に決定権を持ってもらいましょう。私たちがキリストの平安に王として私たちの心を裁定していただくなら、私たちの結婚生活、家庭生活、召会生活は、みな一の中で守られるでしょう。

在職青年編

兄弟の証し: 私は、品質関連の担当部長として勤めていました。しかし会社が買収されて、職場環境が大幅に変更され、責任を持って業務を行なうことが困難になりました(品質の責任者は、顧客や政府に対して会社を代表して重大な責任を持っています)。そこで同僚である兄弟から大阪の日系の会社の品質部門の責任者としての転職を紹介されました。面接の後、私の品質に関する経験と英語の能力が高く評価されて採用されることになりました。ただし外資系の会社から日系の会社への転職であったため、年収では約200万少ないものでした。新しい会社は1月入社を期待していましたが、元の会社のボーナス約100万の支給が3月末であるため、4月から入社させてほしいと連絡しました。新しい会社は難色を示しましたが、4月入社を受け入れてくれました。

この時点で私はボーナスを捨てて1月入社すべきか、ボーナスをもらってから4月に入社すべきかについて悩みました。当時の会社の本部長である兄弟に聞いてこのことを交わり、共に祈ってもらいました。祈った後その兄弟が言いました、「新しい会社に転職することは決まっているので、金銭的なことはあまり重視すべきではありません。重要なことは祈りの中でキリストの平安が兄弟の中にあるかどうかです。1月入社に平安があれば、1月に入社してください。また4月入社に平安があれば、4月に入社してください」。私は自分の姉妹と一緒に祈り、1月入社に平安があったので、ボーナスを捨てて1月に転職することを決定しました。

入社後2か月間は状況を見ているだけでしたが、3月から本格的に業務に携わるようになり、4月に担当部長から部長に昇進しました。4月後半に品質に関する関連当局の査察があり、重大な指摘を受けました。この環境は私が部長としての力量が十分あるかどうかを試される環境でもありました。私は窮地に陥り、非常に困惑しましたが、前述の本部長の兄弟と交わり、共に祈ることで、主によって導かれ大事に至ることがないように会社を導くことができました。会社の役員たちはこの後、品質に懸念のある他の案件をすべて再評価する必要があるという決定を下しました。これは経営者から見てこの件で、私がリーズナブルな解決策を提案できたからです。

今考えると、4月に入社したのでは、この案件を私が主導権を持って対処することはできませんでした。もしそうであれば、状況は大混乱に陥り、個人の理由で入社を遅らせた私に対する評価は非常に厳しいものとなったでしょう。私はすべてのことを見通すことはできませんが、主は万事をご存知ですので、主の平安に心を裁定していただくことは、とても重要です。実は上司であった姉妹からも、昨年の10月ごろ買収後の元の会社の品質に関する消極的な取り組みのゆえに、「兄弟は早く会社を転職した方がいい」と言われたことがありました。主のあわれみと導きのゆえに感謝します。私が思い返して見ると、本来であれば、この時点で1月転職を決意すべきだったのです。自分の頑固さのゆえに決定が遅れましたが、主のあわれみに満ちた導きがあることを感謝します。

兄弟の証しは、キリストの平安に裁定していただくことが、ビジネス・ライフにとって極めて重要な秘訣であることを示しています。

598 召会 — その定義 (英 824)

1
 召会, 主のからだ, かみの住まい,
 召された聖徒の 結集, 神人, 調和;
 かみにえられ, あがなわれた;
 その性しつ, 地位, 天にぞくする。

2
 召会, 復かつ通し 新人に生まれ,
 れいとことばで あらわれ, せい。
 主, 召会のいのち, 召会のかしら,
 性しつはおなじ, 万有超えつす。

3
 主イエス・キリスト, 召会の土だい;
 召会のすべては 主と同様, 神聖。
 十字架の死, 通り, 復かつにあり,
 金, 銀, 宝せきとし 建ぞうされる。

4
 かみ, 主, 霊ひとつ, 要素はひとつ,
 信仰, 希望, バ+>テマ, からだひとつ。
 三いちのかみは 召会のちゆう心,
 信仰でむすばれ, 再臨をのぞむ。

5
 諸こく民より出, 肢体とされる,
 身分の高低なく, ひとつとなる;
 ユダヤ人, 異邦人, 自由, 奴隷なく,
 あるはひとりの あたらしいひと。

6
 宇宙のからだは かく地にあり,
 地方のたち場で あらわれ出る。
 行政は地方てき, 主はその元首,
 まじわりは宇宙, へだてはなし。

7
 諸召会の完成は 新エルサレム;
 キリストの豊満, みやこの光景;
 主は燃える燈火, 召会はしよく台,
 栄光のみかたち 完成, 到たつす。

598 召会 — 定义

一
 召会 是主的身体, 也是神的居所;
 是众圣徒的结集, 也是神人调和;
 创世以前神所选, 十架主死所赎;
 性质、地位全属天, 地上任何不属。

二
 她是新造的新人, 基督复活所生;
 圣灵里面受了浸, 藉道之洗成圣。
 基督是她的生命, 又是她的元首;
 她与基督同性情, 高升远超万有。

三
 她的根基已立定, 乃是耶稣基督;
 能与基督同神圣, 才是她的事物。
 凡属她者都需要经过十架妙死,
 在复活里被建造, 全是金、银、宝石。

四
 她的元素全是一: 一神、一主、一灵、
 一身、一信并一洗, 一望, 神所命定。
 三一之神在里面, 众人成为一身,
 藉信联结, 因洗断, 凭望等候主临。

五
 她的所有众肢体, 出自各方、各民,
 全都结合成为一, 不分任何身分;
 没有犹太或外邦, 没有自主、为奴,
 没有卑下或高尚, 只有新人‘基督。’

六
 宇宙之中独一个, 分在各地出现;
 一地一会为原则, 地方立场为限。
 地方行政虽独立, 各向元首负责,
 宇宙交通却一体, 无何离异间隔。

七
 她在各地的出现, 都是撒冷雏形;
 为作基督的丰满, 先有圣城情景:
 基督是灯, 神是光, 她是灯台照明,
 显出荣耀的形像, 直到撒冷完成。

824. The Church - Her General Definition

1
 The Church is Christ's own Body,
 The Father's dwelling-place,
 The gathering of the called ones,
 God blended with man's race;
 Elect before creation,
 Redeemed by Calv'ry's death,
 Her character and standing
 Of heaven, not of earth.

2
 New man of new creation,
 Born through her risen Lord,
 Baptized in God the Spirit,
 Made holy by His Word;
 Christ is her life and content,
 Himself her glorious Head;
 She has ascended with Him
 O'er all her foes to tread.

3
 Christ is her one foundation,
 None other man may lay;
 All that she has, as Christ, is
 Divine in every way;
 Her members through the Spirit
 Their death on Calv'ry own;
 They're built in resurrection —
 Gold, silver, precious stone.

4
 One God, one Lord, one Spirit —
 Her elements all one —
 One faith, one hope, one baptism,
 One Body in the Son;
 The triune God is in her,
 One Body members own,
 By faith they are united,
 In hope of glory shown.

5
 From every tribe and nation
 Do all the members come,
 Regardless of their classes
 United to be one.
 No high there is, nor lowly,
 No Jew, nor Gentile clan,
 No free, nor slave, nor master,
 But Christ, the "one new man."

6
 One Body universal,
 One in each place expressed;
 Locality of dwelling
 Her only ground possessed;
 Administration local,
 Each answ'ring to the Lord;
 Communion universal,
 Upheld in one accord.

7
 Her local gatherings model
 The New Jerusalem;
 Its aspects and its details
 Must show in all of them.
 Christ is the Lamp that shineth,
 With God within, the Light;
 They are the lampstands bearing
 His glorious Image bright.